

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 恵那市立恵那東中学校

① 学習指導案

プログラム	No.8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
单元名 (全 時間)	風景画「恵那峡・大井ダム」 (全15時間)
学習のねらい	大井ダム誕生100周年を記念して、大井ダムとその周辺の恵那峡の風景画を描くことを通して、校区の歴史的な産業遺産や県立公園として指定されている自然あふれる恵那峡の景観の美しさや豊かさに気づくと共に、自らの捉えた魅力を表現する。 大井発電所誕生100周年記念イベントに参加し、自らの捉えた魅力を多くの人に伝えることができる。 大井ダム誕生100周年記念イベント主催者、参加者からの意見や感想をもとにして取組を振り返る。
学習内容	1. 大井発電所周辺の恵那峡を訪れ、伝えたいものを探してスケッチに取り組む。 2. 見出した魅力が伝わる被写体、構図を決め出して、風景画を作成する。 3. 中間鑑賞を行い、互いの表現やよさ、被写体の良さを交流する。 4. 完成した風景画にタイトルやコメントをつけて、より魅力を伝える工夫をする。 5. 完成した風景画を、市や関連団体が主催する大井ダム完成100周年記念イベントに活用してもらう。 6. 主催者などからの感想をもとに、活動の振り返りをする。
参考資料 準備品 実施場所等	恵那市史 大井ダム、恵那峡で撮影された写真資料 恵那峡

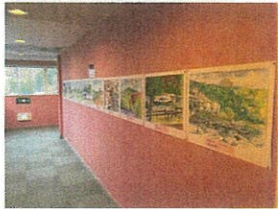


学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○大井ダム誕生100周年を記念したイベントが市内で開かれることを知る。 ○給食時のオンライン紙芝居から、福沢桃介氏による建設の目的、建設当時の様子を知る。	・大井発電所、恵那峡を事前下見 ・安全なスケッチ場所 ・テーマを表現しやすい場所 ・市民三学委員会が、本校美術部に制作を依頼した「福沢桃介大井ダム100年」の紙芝居を給食時にオンラインで紹介。また大井ダム完成100周年記念イベントを紹介し、風景画を地域展示することを伝える。	・大井ダムの歴史的背景や地域の人の思いを知る。 ・風景画を制作する意欲を高める。(観察)
2	○現地取材を行う ○大井ダム周辺の恵那峡を訪れ、伝えたいものを探してスケッチに取り組む ○写真撮影、スケッチを行い、伝えたいことを考える。 ○仲間と交流して、自らの伝えたい思いとスケッチポイントを明らかにする。	・生徒が安全にかつ主体的に取材できるよう主要ポイントに教員を配置 ・取材を通して感じたことを問い返し、伝えたいことをはっきりさせて、スケッチポイントを決めさせる。	・伝えたいことが表せるスケッチポイントを選ぶ。(観察)
10	○スケッチや撮影した画像を参考に風景画の制作に取り組む。 ○伝えたい風景の良さが伝わる構図を考える。 ○先生に相談したり、仲間と交流したりして制作をすすめる。 ○中間交流を行う。 ○制作意図を伝え、互いの作品の良さを交流する ○制作意図を確認することで大井ダム、恵那峡の魅力を問いなおす。	・教師が撮影した画像やスケッチを紹介し、取材時に感じた思いをより想起させるようにする。 ・作品例などを提示して、その場所を知らない人にも魅力が伝わるような構図や色調、彩色などの表現を、工夫させる。 ・生徒が取り入れたい技法の相談を随時行い、構図や彩色の技法の定着を図る。 ・生徒相互で相談、交流する機会を位置づけて、場所の魅力を伝える意欲を持続させる。	・制作の意図をもって作品作りを行う。(作品づくりの様子) ・仲間と関わり合って制作に取り組む ・(観察)
2	○学習のまとめをする ○出来上がった作品を交流する。作品を通して、大井ダム、恵那峡の魅力を共有する。 ○仲間の制作に対する態度や作品の構想や技法などの良さを知る。	・完成した作品を展示する。 ・作品から伝わる大井ダム、恵那峡の魅力の共通点を探らせる。 ・景観の良さを交流することで、大井ダム、恵那峡の景観を維持していくことの意義を考えさせる。	・地域の魅力を作品で表現する。 ・制作を通して感じた地域の魅力をまとめる(自己評価)

② 事業実施報告書詳細

学校名 恵那市立恵那東中学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
3	恵那峡	大井ダム周辺の恵那峡を訪れ、伝えたいものを探してスケッチに取り組む。		気に入った場所を見つけるとタブレットで撮影を繰り返していた。恵那峡内を一周してスケッチを行った。
10	美術室	スケッチや撮影した画像を参考に風景画の制作に取り組む。 先生に相談したり、仲間と交流したりして制作をすすめる。 	  	作品例を参考に、して魅力の伝わる構図を考えたが、難しかった。 魅力が伝わるような色を工夫してつけることができた。
2	美術室	大井ダム、恵那峡の景観の魅力まとめ 「大井ダム完成100周年記念イベント」で市内のホテルの廊下などに生徒の作品が展示された。	 	作品展示の会場へは行けなかったが、多くの人に作品を見てもらうことができてよかった。 恵那峡の魅力を知らせてよかった。

③ 実施内容について

(1)実施にあたり工夫した点

- ◎ 事前に現地取材を行い、生徒が魅力を感じる場所の候補を選び出し、構図、彩色の見本を提示できるように準備した。
- ◎ 市民三学委員会が、本校美術部に制作を依頼した「福沢桃介大井ダム100年」の紙芝居を給食時にオンラインで紹介したいとの依頼を受け実施した。
- ◎ 大井ダム完成100周年記念イベントを紹介し、風景画を地域展示することを伝えた。

(2)実施にあたり苦勞した点

- ◆ 2年生全員(4学級)が現地取材ができるようにバスを使う計画を立てた。4学級全員がいっぺんに訪問することは難しく、2チームに分かれて実施した。しかし雨のため、1チームは取材ができなかった。そのため、事前に用意した資料などを参考にして制作にあたらせたが、どのクラスも意欲的に取り組めた。
- ◆ 「大井ダム誕生100周年」を記念に生徒の風景画を展示することは決まっていたが、展示場所、展示数が直前になって知らされた。生徒の作品展示が限られることになり、学年廊下に全作品を展示し、授業参観時に保護者に見てもらえるようにした。

(3)生徒の反応

- ◎ 初めて大井ダム、恵那峡を訪問した生徒が少なからずいて、地域の名勝地を知る機会となった。
- ◎ 「大井ダム誕生100周年」を記念に生徒の風景画を展示することが、目的となり意欲的に作品作りに取り組むことができた。
- ◎ 仲間と作品交流を通して、大井ダム、恵那峡の様々な景観の美しさ知ることができた。また作品作りの態度や作品の出来栄の良さを、互いに認め合うことができた。

(4)担当教諭及び担当外教諭の変化

- ◎ 2学年主任を中心に全学級担任で現地取材を実施した。生徒たちが楽しそうに取材をする姿が多く見られ、学級担任たちからも好評であった。
- ◎ 学級担任も大井ダム、恵那峡の景観の見る機会にもなり、生徒たちと景観の良さを交流し、地域の魅力を共有する良い機会となった。
- ◎ 今後も実施することを期待する声もあった。

(5)今後の課題と取り組み

- 2年生美術のカリキュラムに「風景画」を従前から位置付けている。生徒自身が感じた伝えたいことの中に地域の魅力を表現することを位置づけ指導する。
- 次年度は大井ダム、恵那峡と限定せずに、生徒が見つけた場所となるように工夫したい。